

静かに、鮮やかに日々を暮らす「今が幸せ」

公民館などに季節の花のお裾分けを続ける なかじま はつえ 中島 初枝さん(二町町)



夫婦の遊び場になっている畑

畑は遊び場 夫婦それぞれ土に親しんでいます

優しいお姑さんから、そう言われて譲り受けた約500㎡ほどの畑で、ご主人はエンドウやタマネギなどおいしい野菜を育て、初枝さんは突抜忍冬や紫蘭、芍薬など茶花になる和花と、フリージアやルピナスなど切り花にして楽しめる洋花を育てています。

晩春～初夏はフリージアが満開になります。初枝さんは「フリージアは色鮮やかで香りもいいの。それに、花言葉の「感謝」は私の気持ちにぴったりなのよ」と話していました。



家族に点てる一服



茶花(和花)畑の紫蘭



フリージア畑

楽しんで育てた季節の花を公民館などにお裾分け。何気ない善意を長年続けてきた、二町町の中島初枝さん取材しました。



雨の日も花を愛でる



ルピナス



突抜忍冬(茶花)



芍薬(茶花)

茶道教室で花に興味
育てた花が誰かの和みに

定年の歳まで仕事を続け、お姑さんを看取った後、平成10年から守山公民館の茶道教室に通っています。26年間続けてこられたのは、健康と家族の理解、いい先生と仲間のおかげ。

お茶席には茶花がつきものなので、それが縁で花に興味を持つようになりました。毎月2回の茶道教室に茶花を持参、切り花は公民館や自治会館、友人などにお裾分けしています。

花を育てている畑は近所にあつて、近くを通る人たちの目を少しでも和ませたくて、畑を囲むようにアジサイなどを植えています。もともと土いじりが好きなのでしょね。

静かな茶花の畑に
自然の不思議を感じて

茶道教室のある日は、畑で育てた茶花を床の間に飾らせてもっています。

友達から種や苗などをもらったりして畑にはたくさん種類の茶花(和花)があり、まるで静

かな路傍の花畑です。特別手間暇をかけて育てているわけではありません。気付いたら芽が出ている、花が咲いてくれる。

茶道教室の先生から「花は野にあるように」と教えてもらいましたが、「花は生きているのだな」と実感します。そこに感動や感謝の想いが湧くのです。自然は本当に不思議だと思えます。

茶道も育てた花も
一緒に楽しんでくれる家族

茶道教室で「お茶は健康にいいのだから、家でも点てて飲みなさい」と先生に教えてもらいました。それから夫と娘夫婦の4人家族に一服を点てるようになりました。

もちろん、今の季節はテーブルの上といわず玄関といわず、フリージアが色鮮やかに飾られ、ほのかな香りを放っています。

茶道も花づくりも私の趣味ですが、家族が私の点てる抹茶を楽しんでくれることや、信樂に outcomes は抹茶茶碗をお土産に買ってきてくれること。「理解」や「協力」を超えて、一緒に楽しんでくれることが、とてもうれしく、励みにもなっています。

いものですから。

共働きで一生懸命働いて、お姑さんの介護や看取りもしました。長い人生だからいろいろ苦労もあつたけれど、教室も仲間も家族も大好きで、今が幸せだからそれでいい。そう思えるのも、遊び場と花のおかげです。

家族との時間が幸せ
畑の遊び場と花のおかげ

天気の良い日に畑の隅で、夫と並んで座り、ビールをちよつと飲むのが楽しみ。娘2人とのドライブやおしゃべりの時間も大切にしています。花でも家族でも、ふれあい楽しくうれし